

地球ヤンゴン号

今月の話題

さつき
皐月
5月
ツツジ



これはヤンゴンでよく見られる光景です。雀には稲穂を外に吊したり、鳩にはご飯やトウモロコシの種を通りや広場に蒔いてあげたりしています。バゴタの近くで小鳥を売っている人もよく見かけます。いろんな種類の野鳥です。参拝者がその小鳥を買って逃がしてあげることで仏教徒としての徳を積んでいるのです。動物と人間との共生を大切にしている素敵な国です。



<5月の予定>

- 5/1 (水) メーデー休日
- 5/5 (日) こどもの日
- 5/11 (土) 授業公開・学級懇談・PTA総会
- 5/15 (水) 言語①
- 5/22 (水) 言語②

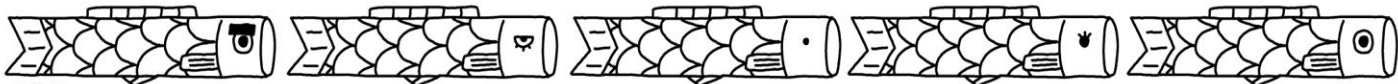
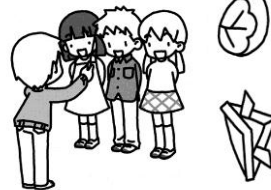
学校のこいのぼり
を見てください。

ミャンマー語と日本語を
スキルアップします。

期待しています。

<ミニコンサート>

6/28 (金) ピアニスト石塚まみさんのミニコンサートを開催します。戦地ビルマからの祖父母の絵手紙をテーマにした「ビルマからの便り」等、保護者の皆様も一緒に！！



在籍数激増、今年度、幼・小・中合わせて82名でのスタートです。

本校はここ1年、2年前には誰もが想定していなかった園児・児童生徒数急増の大波が押し寄せて来ています。このまま進行すれば、園児・児童生は今年中にも100名を超え、ここ2、3年後には、200名に到達する事態も予想されます。しかし、現在の学級のキャパシティでは、小学部1クラス20名までが限界です。すでに今年度13名でスタートしている学級が2クラスあります。昨年度は、職員室に簡易ベッドを置き、保健室として対応しました。今年度は、春休み中に現在3教室の幼稚部を2教室にして、図書室を移動して複式対応の教科指導室に余裕を持たせました。また、永年の懸案であるトランスフォーマー（電圧安定器）を設置し、電力の安定を図りました。この2年間は、これでどうにか対応できそうです。

しかし、この在籍数の増加は今後とも続きます。とにかく在留邦人のお子様を日本に待機してもらいたいと考えています。

ヤンゴン日本人学校は、実質的にはこれまで日本人会の皆様や保護者の皆様のご尽力で維持管理されてきました。今もう一度設立の原点に帰り、在留邦人が一丸となって取り組まなければならない時期にきています。保護者の皆様も校舎増築の気運を高め、子どもたちが安心して通学できる環境を一緒になって創造していただけることを切に願っています。

豆知識 おうし座

美しい王女に一目で恋をしてしまった神々の王ゼウスが、妻を迎えるため白い牡牛に姿を変えて迎えに行ったときの姿がおうし座です。ゼウスは王女を連れていき結婚しました。そのとき通った土地に、ゼウスは王女の名前を付けました。王女の名前はエウロパ(ヨーロッパ)です。

